

史料群番号 6

史料群名	そけいはま 磯鶏浜漁業組合資料		旧所蔵者	(宮古漁業協同組合)
探訪時住所	岩手県宮古市			
現在の住所	岩手県宮古市			
探訪年月	(昭和24(1949)年11月)			
史料の年代	昭和13(1938)年	史料の 総点数	1点	
年代の内訳	近代 1点	筆写稿本	なし	
既刊行目録	なし			

収蔵にいたる経緯

探訪に関する書類はなく、詳細は不明である。磯鶏浜漁業組合は水産業団体法が施行された昭和18年に宮古市漁業会に統合され、昭和24年に、白浜、宮古、宮古市、鯨ヶ崎の4つの漁業協同組合が成立した(岩手県漁業史)。「宮古漁業協同組合」には、日本常民文化研究所の調査員が昭和24年11月に訪れており、その際に収集した史料が「漁業制度資料目録」に掲載されている。それらは戦前の「宮古町漁業組合」や「下閉伊郡水産会」など、旧組織の資料を多く含んでおり、「宮古町漁業協同組合」に旧組織の資料が集積されていた。その中に昭和13年の「役員会会議録」があって、あるいは本史料群の史料と一致する可能性がある。

史料群の概要

磯鶏浜は宮古湾の西岸にあって、磯鶏須賀と称され、地曳網漁が盛んに行われた。磯鶏の漁業については「細越忠次家文書」の「史料群の概要」欄を参照。史料は昭和13年「役員会会議録」の書類綴1点のみである。

